



○説明者 こちらで水分だけを取って、冷却したぐあいで水分が取れて、圧縮されたガスが中に入って燃えて、燃えるのが石油のかわりで、それでモーターを動かします。

ここに、トラクターによって、サイロにあった穀物のためのものを、発酵槽の中に入れて込まれます。これで大体1日かかりますね。材料が1日に35トン必要です。自動的に1時間ごとに1トン強が送られていきます。あんまりたくさん入ると、冷たくなると困りますから。

○中井議員 牛ふんとトウモロコシ、草、これらをまぜたものをここへ。

○説明者 中でミックスします。こちらの方は固体で、あちらの方にふん尿が入ってきて、それをこの下の見えないパイプから入れられる。あちらに直接中に入って、向こうの中でミックスします。だから、半分半分です、液体と固体と。

○中井議員 ここに積んであるのは、トウモロコシとか草ですね。

○説明者 先ほどの難しい名前のトリティカーラです。草ではなくて穀類なんです。草は5%で、トリティカーラが60%、トウモロコシが30%。これは、トウモロコシの全部が入ってます。これがまだやわらかい状態で収穫しないと、かたくなって乾いた状態は困るんです。ちゃんとバクテリアが働いてくれないから、隣のあれがトリティカーラです。

○中井議員 ここに積んであるものはもう使える状況ですか。

○説明者 これは、もう大丈夫です。

○中井議員 どれぐらい、たってますか。

○説明者 去年の秋からです。これで、ちょっと発酵したような状態、サイロってありましたよね、あれのイメージです。

だけど、これでカバーをしておかないと、いい状態にならないんです。だから、あの向こうにある黒くなったところ、バクテリアをあれで殺してしまうことになるので、中に入れてはいけないんです。

次のところは、木材のチップを見ていただきます。そちらの方が木材のチップです。普通の冬ならば、これが、このホールの2つぐらいのボリュームで賄えます。



○説明者 そこにコンテナがグリーンなのが2つあります。夏にエネルギーがたくさんできたときには、こちらの方で木材を乾かすような設備をつくっています。エネルギーが、夏には暖房用が要らないですので、バスルームとお台所だけで済んでしまいますから、余ります。新鮮な木材があちらへ持ってきて、乾かして、それを後で貯蔵するというので、冬場に燃やします。

これがそちらの木材の方で材料になって、こちらで燃やされて、ここで温水がつくられるための材料、これはスイスの機械です。スイスは、昔、かなり前から木材のくずを利用して、暖房システムをつくっていましたが、シュミットという会社で。こちらにあるパイプが、温水を配給するためのセットです。熱については、モーターがあって、それからチップの方があって、それから石油のピンチヒッターと3つ熱源があります。この3つの熱資源があって、それが一緒になって、それをまたあちこちに配給していくというか、分かれています。

こちらの方は発酵槽の方に熱を送っています、熱湯を。バクテリアが38度の温度が保てるように、こちらの奥にあるのがポンプです。これは、それぞれの家庭の方に送っていくポンプです。下にある、そのお水が80度で、こちらから村の方に送られていく、それぞれの家庭に送られていく。それぞれの家に5度ぐらい下がって75度になっていくと。

ポンプは2つありますけれども、1つは予備で、1つしか稼働していません。

そちらにある見本というのは、家庭内に置かれてあるメーターです。大抵が地下に置いてあるんですけれども、熱い熱湯がそちらの方から、道路の方から入って、そのところをずっと通って、家の暖房のスチーム配管を通して、冷たくなったのが反対の方から出てくるといことです。

そちらは、逆流を避けるためのものです。ここから水が来て直接に入りますから、こちらでごらんになったポンプでそれぞれの家庭の方に送っていき、それぞれの家庭で温度を調節できます。そこでモーターが入って、それで無線というか、20度ということになれば、そのところでとまってしまいます。だから、家の中では、そのところで夜の間はちょっと温度が冷めるように調節しています。

そちらの方に、こういうポンプがあって、ボイラーがあって、バスルームのシャワーとか、お風呂とか、それからお台所に必要なのが入って、そちらの方にまた戻っていくというような、ボイラーの入れ物があります。

ゆっくりと水が配管の中を回ります。熱を十分に、その熱を家の中で、部屋の中に送って、また戻ってくる時の水の温度が、75度で家庭に入ったとして、戻ってくるのは、35度、から40度ぐらいでこちらの方に戻ってくるように考えられています。

大体この中をぐるぐる回ってる水というのは3万リットルぐらいです。

○中井議員 どうもありがとうございました。